



宗岡二中だより 11月号



平成30年11月1日（木）

志木市下宗岡 4-1-10 ☎048-472-1516

自ら学び考える生徒

学校教育目標：心豊かな優しい生徒

明るく元気な生徒

ならぬことはならぬものです

校長 滝沢 慎

スーパーで買い物をしていた時の事、幼い3人兄弟を連れた夫婦がいました。子供たちは、お菓子売り場では、「これ買って、これ買って」と大きな声を上げています。両親は相手をしません。しばらく、駄々をこねていましたが、次は、店内で鬼ごっこを始めました。「キャー」と時折、奇声も発しています。両親は、それが分かっているのでしょうか、追いかけて止めるでもなく、買い物を続けています。

店内に、別の幼い男の子と母親がいました。男の子は、走り回っているお友達に触発されたのか、むずむずしているようです。心なしか、母親の目が鋭くなっています。男の子は、我慢の限界か、お友達に向かって走り出したとたん、母親は、ガッとその子の腕をつかんで、「走っちゃ、ダメ」と制止しました。

男の子は、何で僕だけという視線で母親を見えています。母親は、「お店の中は、人が大勢いて迷惑がかかるし、ぶつかったらけがをさせるでしょう。たとえば、他のお友達がしていても、していいことと悪いことがあるの。ダメなものはダメ」と諭していました。

走り回っていた3兄弟は、一人が男の人とぶつかって「走ってはいけないよ」としかられ、ばつ悪そうな顔をしていました。

昨今、人はそれぞれ違うのだから、ダイバーシティ（多様性）を考慮しなければいけないという、意見を聞きます。私も、お互いを認め合い、尊重することは、とても大切だと考えます。しかし、それは、全てのことに当てはまるのではなく、マナーやきまりなど、みんなが順守しなければならないこともあると思います。

昔の会津藩校では、同じ町に住む六歳から九歳までの藩士の子供たちは、十人前後で集まりをつくり、この集まりのことを「什（じゅう）」と呼び、そこには「什のおきて」というものがあつたそうです。「ならぬことはならぬものです」で有名です。今の時代にそぐわないものもありますが、大事なことを、私たちに伝えています。

- 一、年長者（としいえのひと）の言ふことに背いてはなりません
 - 一、年長者にはお辞儀をしなければなりません
 - 一、嘘言（うそ）を言ふことはなりません
 - 一、卑怯（ひきょう）な振舞をしてはなりません
 - 一、弱い者をいぢめてはなりません
 - 一、戸外で物を食べてはなりません
- ならぬことはならぬものです

宗岡二中では、生徒一人ひとりが社会で生きていく力を養うために「いけないことは、いけない」ということを身に着けさせる教育を実践します。保護者の皆様のご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。